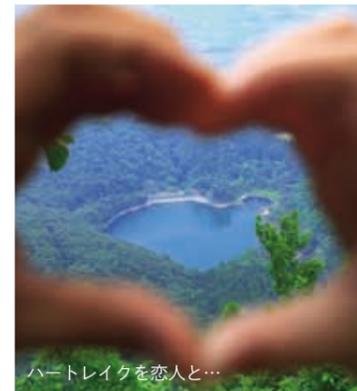




半田山：ハートレイクを眺める



北登山口から約20分登ると「ハートレイクビューポイント」の看板がある。ここから半田沼を眺めると、ハート型に見える。恋人と見ると幸せになれるという言い伝えも♡



桑折町

半田山

【はんだやま・863メートル】

2人をつなぐハートレイク！
縁結びスポット



KEY POINT

- 1 日本三大銀山の一つ
- 2 ヒメサユリなど山野草の宝庫
- 3 桜や紅葉もおすすめ！

桑折町を象徴する半田山は、平安時代初期に銀山が発見され、石見、但馬の生野と並んで、日本三大銀山の一つと称されていました。明治期には、NHKの朝ドラで話題になった五代友厚氏が経営に携わったことでも知られています。山の中腹には、直径約2500m、面積62,000平方m(東京ドームの1.3倍)の半田沼があります。11月から5月にかけて、山頂付近から見下ろすとハート形に見えることから「ハートレイク」の愛称で親しまれています。また、登山口から少し登ったところには、2つの木が手をつなぐように絡み合う「縁結びの木」があり、いま人気急上昇中の新たな縁結びスポットになっています。山道には、あちこちに珍しい山野草が咲いています。シラネアオイ、ギンリュウソウなど、季節ごとに様々な山野草に出会うことができます。他にも、花見、紅葉狩り、キャンプ、サイクリングなど、たくさん楽しみ方があります。テントや炊飯用具、運動具も貸し出しています。様々な形で大自然とふれあうことができる半田山へどうぞお越しください。

登山口までのルート



下山後のオススメ！

うぶかの郷

登山後は、「うぶかの郷」の保温性がある湯に身を浸し、疲れを癒してみたいはいかがですか。アルカリ性のお風呂は、つるつる美肌の湯として親しまれています。入浴料：大人350円小中学生250円(10時～21時) Tel 582-4500 (第2・4火曜日定休)



阿津賀志山は古くから信仰の山だった。「三十三観音八十八大師画像碑群」と呼ばれる約120体の石碑が山の中腹から山頂にかけて群立している。弘法大師像や観音菩薩像が刻まれた石碑が登山者をひっそりと見守る。



阿津賀志山：防塁始点から眺める

国見山、たんがら山とも呼ばれる阿津賀志山は、国見町の小中学校校歌にも歌われるほど町民に親しまれています。周辺の山々に比べて標高が低く、ウォーキング感覚で登山を楽しむことができます。アカマツ林が広がる林道を抜けて山頂の展望台に辿り着くと、信達平野が一望できます。また、南方に目を向けると、阿津賀志山を中心に国道4号やJRが大きく迂回していることがわかります。このことから、阿津賀志山周辺は古くから交通の難所であったことがうかがえます。

文治5年(1189年)には、源頼朝が率いる鎌倉軍と奥州藤原氏が戦った奥州合戦の地となりました。奥州藤原氏が防御施設として築いた阿津賀志山防塁は、阿津賀志山の中腹から阿武隈川まで約3キロメートル続きます。政治の中枢が公家から武家に変わる契機となった戦いの舞台にもなりました。激戦が繰り広げられた山の麓には、現在は田畑が広がり、防塁が遺構としてたたずんでいます。800年の時の流れに想いを寄せながら、山頂からの眺めをお楽しみください。

国見町

阿津賀志山

【あつかしやま・289メートル】

奥州合戦の激戦地！
国を見渡す歴史的な山



KEY POINT

- 1 低山のため気軽に登山できる
- 2 山頂からは信達平野を一望
- 3 奥州合戦の地となった歴史ある山

下山後のオススメ！

国見バーガー

山歩きで小腹がすいたら「国見バーガー」をご賞味ください！さばの味噌煮をバンズではさんだ国見町のご当地バーガーです。キッチンカーで販売していますので、販売場所などは「国見バーガー」フェイスブックでご確認ください。



登山口までのルート

